

市議会の概略

議会の役割

市長の提案する予算や条例案などを審議し、西尾市の意思を最終的に決定する機関です。また、市政が正しく適切に行われているかチェックをしたり、請願や陳情の審査をします。

議決案件

- ・条例の制定、改廃
- ・予算の決定
- ・予算の認定
- ・契約の締結
- ・財産の取得、処分
- など

本会議

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）開催します。議案審議と一般質問を行います。会期は一ヶ月程度です。臨時会は、市議会の議決が必要な事柄があり、定例会では間に合わない場合に開催します。税制改正や契約の締結などで4月、5月に行なうことがあります。

常任委員会

本会議の会期中に開かれ、本会議に提出された議案などについて詳しく審査します。一人一委員会に所属しています。

- ・企画総務委員会（7人）
- ・厚生委員会（7人）
- ・文教委員会（7人）
- ・経済建設委員会（7人）

特別委員会

特定の事項について詳しく審査します。

- ・決算特別委員会（11人） 9月本会議の会期中に前年度の決算について審査します。
- ・議会改革特別委員会（13人） 議会改革について協議します。

議会運営委員会

議会の運営をスムーズに行なうために、会期の決定や議会の運営、議事の取り扱いについて協議します。（8人）

協議会

本会議に提出された議案以外の案件の協議を行います。ほぼ毎月開催します。常任委員会と同じ構成です。

- ・企画総務部会（7人）
- ・厚生部会（7人）
- ・文教部会（7人）
- ・経済建設部会（7人）

その他

- ・議会だより編集委員会
- ・会派党代表者会
- ・議会改革検討部会
- ・全員協議会

勤務内容

本会議を始め各種会議の出席、各種行事の出席、会議に向けての資料や情報収集、議案内容の確認、現地調査、一般質問の作成、議員間や市民との意見交換などです。勤務時間は定められていませんが、平日・休日に関係なく活動しています。自宅にいる時は何をしているか？勉強している時です。各種会議内容の把握、情報収集、一般質問の作成などです。一般質問は、現状や問題点の抽出、先進地事例の把握、改善策の提案、前述の作成や文章の構成など多くの時間を要します。また、傍聴やインターネット配信、更に、会議録として残され、ホームページで誰からも見ることができるため質問や発言内容には気を遣って作成します。

政務活動費

野々村元兵庫県議や富山県議、富山市議の不正受給で問題になりました政務活動費は自治体によって大きく異なります。全国的に相次いだ不正で有権者に使途への不信感が広がっていますが、西尾市は年間180万円で、大方、先進地視察で正しく使っています。兵庫県議は540万円、富山県議は360万円、富山市議は180万円、名古屋市議は600万円、岡崎市議は60万円となっています。



◆ 人を大切にするまちづくり ◆

西尾市議会議員

渡辺 信行

2017年 新年号 発行人 渡辺信行後援会

市政レポート

T 444-0701 西尾市東幡豆町中川原3番地
TEL 62-3217



謹賀新年

本年も皆様にとりまして幸多き年になりますようご祈念申し上げます。西尾市は、防災・減災対策を始め子育て支援や教育環境の充実など将来を見据えた施策に取り組んでいます。また、少子高齢化や人口減少が懸念される中、「西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して、子供を増やす、雇用の場を増やす、魅力ある住環境を提供し定住者を増やすための施策を展開してまいります。市民と行政が共に考え、行動する「協働」のまちづくりにご理解とご協力をお願いします。西尾市の発展と市民の皆様が安全で安心して暮らせるよう議員活動に努めてまいりますのでよろしくお願いします。



「夢や目標に向かって努力」

幡豆中学校の同窓会長をしているため毎年、卒業式前日の卒業記念品授与式で生徒に言葉を送っています。例年、「努力」や「健康」、「感謝の気持ち」などの話をしていますが、前年度はアイドル歌手の丸山かりんさんの話をしました。

彼女は、小学2年生の時に悪性脳腫瘍を発症し、7回もの手術を乗り越えたものの肺に転移した癌には勝てなくて、21歳で他界しました。生前、病と闘いながらオーディションを受け、夢であったCDデビューを果たしました。鼻から酸素吸入しながらライブを行い、全力で駆け抜けた短い人生であります。その丸山かりんさんは、「**成功の反対は失敗ではなく挑戦しないこと**」そして、「**生きることは幸せ**」と言っていました。

健康が当たり前のように思っている人がいますが、生きて行くためには健康が何よりも大切であります。それと、今を大切にすることが大事であります。その日、その時は戻って来ませんし、過ぎた日をやり直すこともできません。今、やるべきことをやって、今日という日を有意義に過ごせば、また有意義な明日が迎えられます。辛いこともありますが、それらは努力すれば必ず克服できると思います。**夢や目標に向かって努力**したいものです。



一般質問の概要（9月議会）

議題 植原市政二期目のマニフェストの進捗状況について

問 56項目の事業が挙げられているが、進捗状況はどのようか。

答 実行中の初期が6項目、中期が14項目、後期が26項目、完了が10項目で、全体の進捗率は68%である。



問 任期中の目標達成率の見込みと自己評価はどのようか。

答 概ね順調に事業が進められているが、農業副都心構想や駅西再開発など多方面での調整が必要で時間を要する事業があるので全て完了とはいえない。新たなまちづくりに全力で取り組む。

問 農業副都心構想は何が問題で進まないのか。また、解決策はあるのか。

答 最大の課題である事業主体が決まらないで前に進めることができない。問題点は、事業化に莫大な投資が必要になること、開発に係る法的規制が厳しいエリアであること、事業主体にふさわしいと思うJA西三河が求める規模の施設整備が困難なこと。解決策として、諸課題を一つ一つ協議調整しながら事業化への糸口を探っていく。

問 駅西再開発はどのように考えているか。

答 ビニスホテル等の宿泊施設やコンベンションホール等を誘致したい。現在、支援策の拡充や借地料の見直し等を検討している。

問 総合運動場整備基金の将来展望と事業化に向けた考えはどのようか。

答 平成44年度まで毎年積立てを行い、基金総額約23億円を見込んでいる。事業化に向けては、計画する各施設の整備費の財源が確保できた段階で順次着手していく予定で調査研究を進める。整備計画は現時点では、できていないので今後運動施設の再配置も検討し計画策定に努める。

問 障害者歯科診療の実施を含めた口腔保健支援センターの設置はどのようか。

答 市内で診療ができる施設を整備していく必要があると考えている。今後、事業化に向けてハード面、ソフト面について関係団体と協議・検討していく。

問 「市民と行政が共に考え、行動するまちづくり」としての公共施設再配置の今後の進め方はどのようか。

答 市民協働の観点で、設計や運営の計画作成にあたり市民の意思聴取を行っていく。また、市民や議会と合意形成が図れるようにしたい。

質疑応答の詳細については、西尾市議会のホームページに会議録が掲載されていますのでご覧ください。

お知らせ

（1）名鉄西尾・蒲郡線

名鉄西尾・蒲郡線の経常損益が7億円程の赤字であるため、名鉄は自主運行が困難と判断し、沿線自治体に支援を求め、西尾市と蒲郡市で年間に2億5千万円の負担をしています。これにより32年度までの運行が確定しています。存続のためには乗客数を増やすことが急務であり、市民応援団を中心に利用促進活動をしています。もし廃線になると、学生や車に乗れない人が困りますし、駅周辺の活性化がなくなり町が衰退します。また、地価が下落します。鉄道は、まちづくりには欠かせないものでありますので、観光との関わりも含めて沿線の活性化、誘客推進に努めております。多くの市民にご利用いただきたいと思います。私は、月に4～5回は利用しています。車に比べると寄り道ができないなど不便な点はありますが、車窓から観る季節ごとの眺めが楽しみの一つです。西尾市としては、全国的に鉄道会社の運行が困難で、第三セクター方式や上下分離方式で運行しているところもありますので、今後、経費やメリット・デメリットなど考えて将来のあり方を検討していくものと思います。どの方法にしても健全経営をされることを望みます。



（2）公共施設再配置事業

第1次プロジェクトはPFI方式で6月に業者と契約しました。今年度は、きら市民交流センター（仮称）支所棟の設計、一色健康センター、一色町公民館、一色学びの館、旧海の歴史館の改修の設計、これらに加え、学校給食センターの建設、エクストリームパークの建設などについて検討、協議しています。29年度以降は、前記の施設を含めた、5施設の新設、12施設の改修、14施設の解体、5施設の運営、164施設の維持管理業務を行うことになっています。



（3）西尾駅西広場整備事業

市有地の有効活用と西尾駅周辺の活性化のため、ビジネスホテルやコンベンションホールなどの誘致奨励施設を建設する業者の応募受付をしました。昨年も募集しましたが応募がなかったため、今年は支援策を広げて再募集したものです。1月20日まで提案書類の受付をして、2月に審査、3月に優先交渉権者を決定し、4月以降に契約の締結から設計に入っています。順調に進めば平成30年度頃にはオープンするものと思います。敷地面積は、3,535m²です。



（4）機能別消防団を結団

旧西尾市は、昭和37年に消防団を解団し、全国でも珍しい消防団のない自治体でしたが、南海トラフ地震に備えて機能別消防団を10月1日に設置しました。小学校区ごとの15分団と主に啓発活動に携わる女性分団の16分団です。大規模な災害時の活動や地域防災の要となる活動をします。これにより災害に強いまちづくりを推進するものです。なお、定員に満たない分団がありますので、趣旨をご理解いただき、入団にご協力ください。